

November 1, 2021

【前日の為替概況】米 9 月インフレ率+4.4%でドル全面高、対円では 114 円台

29 日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは 3 営業日ぶりに反落。終値は 1.1558 ドルと前営業日 NY 終値 (1.1681 ドル) と比べて 0.0123 ドル程度のユーロ安水準となった。10 月米シカゴ購買部協会景気指数や 10 月米消費者態度指数 (ミシガン大調べ) 確報値が予想を上回ったことを手掛かりにユーロ売り・ドル買いが先行。市場では「月末のロンドン 16 時 (日本時間 24 時) のフィキシングに絡んだユーロ売りのフローが観測された」との声も聞かれ、一時 1.1535 ドルと約 2 週間ぶりの安値を更新した。前日のラガルド欧州中央銀行 (ECB) 総裁発言後の上昇分をすべて吐き出した格好だ。なお、ユーロ豪ドルは 1.5358 豪ドル、ユーロ NZ ドルは 1.6112 NZ ドル、ユーロポンドは 0.8433 ポンド、ユーロカナダドルは 1.4296 カナダドル、ユーロスイスフランは 1.0570 スイスフランまで値を下げ、ユーロ全面安の展開となった。

ドル円は 3 日ぶりに反発。終値は 113.95 円と前営業日 NY 終値 (113.58 円) と比べて 37 銭程度のドル高水準だった。米 10 年債利回りが低下に転じたタイミングで一時 113.72 円付近まで売られたものの、下押しは限定的だった。対ユーロ中心にドル高が進んだ流れに沿ったほか、月末のロンドン・フィキシングではドル買いのフローも観測されて一時 114.10 円まで値を上げた。

米連邦準備理事会 (FRB) が重要視する 9 月米個人消費支出 (PCE) コアデフレーターは前年同月比 3.6% 上昇と予想の 3.7% 上昇を若干下回ったが、伸びは 8 月と同水準となり高止まりが続いた。7-9 月期米雇用コスト指数は前期比 1.3% 上昇と予想の 0.9% 上昇を上回り、2001 年以降で最大の上昇率となった。

FRB は来週 11 月 2-3 日の米連邦公開市場委員会 (FOMC) で量的緩和縮小 (テーパリング) の開始を正式に決めるとみられている。市場関係者からは「注目はインフレの現状判断。高止まり長期化を認めて警戒を強めていることを示す一方、一過性の文言は残し、長期のインフレ期待の低位安定を新たに指摘して、インフレ鈍化がなおメインシナリオであることを確認する内容になるだろう」との声が聞かれた。

ユーロ円は反落。終値は 131.77 円と前営業日 NY 終値 (132.67 円) と比べて 90 銭程度のユーロ安水準。月末のロンドン・フィキシングに絡んだユーロ売りのフローで、一時 131.61 円と日通し安値を付けた。ただ、前日の安値 131.56 円が目先サポートとして意識されたため、引けにかけては下げ渋った。

【本日の東京為替見通し】ドル円、NY 株高と原油高で底堅い展開か

本日の東京外国為替市場のドル円は、2-3 日の米連邦公開市場委員会 (FOMC) や 4 日の OPEC プラス会合を控えて動きづらい展開の中、ニューヨーク市場の株高と原油高、第 49 回衆院選で自民、公明の与党が絶対安定多数 (261) を確保したことによる日本株上昇期待から、底堅い展開が予想される。

ドル円は原油高や FOMC のテーパリング (資産購入の段階的縮小) 開始決定/早期利上げ観測などから 114.70 円まで上昇した後、テクニカル的な買われ過ぎを示唆する逆行現象 (ダイバージェンス) などで、円売り持ちポジションの利食い局面に入っている。IMM 通貨先物の非商業 (投機) 部門取組は、10 月 26 日時点で前週比 4302 枚増加して 107036 枚の売り持ちとなっている。

ドル円のテクニカル分析では、一目均衡表では三役好転の買いの時代にある。しかし、114.70 円までで陽線新高値 10 手を数えており、酒田野線法の「新値八手十手は酒田の骨子」により利食い売りが推奨されていること、高値圏での逆行現象 (ダイバージェンス) の後、114.70 円を頭とするヘッド・アンド・ショルダーを形成しつつあることは懸念材料となる。

明日からの米連邦公開市場委員会 (FOMC) では、テーパリングの開始が決定されることは織り込み済みであり、注目ポイントは、インフレ高進が「一時的 (transitory)」から「持続的」になるのか、来年の利上げ時期への言及などになる。

4 日の OPEC プラス (OPEC 加盟国とロシアなどの大産油国) 会合では、前回同様に増産拡大が見送られた場合は、プーチン露大統領が警告している 1 バレル=100 ドルの可能性、すなわち、インフレ高進が持続的になる可能性が高まる。一方、プーチン露大統領が欧州向け天然ガスの供給増を指示したように、増産拡大となれば、一時的となる可能性が高まることになる。

10 時 45 分に発表される 10 月 Caixin 中国製造業購買担当者景気指数 (PMI) の予想は 50.0 と 9 月と変わらずと見込まれている。昨日発表された 10 月製造業 PMI は 49.2 と 9 月の 49.6 から低下した。景況改善・悪化の分岐点となる 50 を 2 カ月連続で下回っており、原材料価格の高止まりや国内需要の鈍化により、中国経済はスタグフレーションに陥りつつある可能性が警戒されている。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>
特になし

<海外>

- 10:45 ◎ 10月Caixin中国製造業購買担当者景気指数（PMI、予想：50.0）
- 16:00 ◇ 10月トルコ製造業PMI
- 16:00 ◎ 9月独小売売上高指数（予想：前月比0.4%/前年比1.8%）
- 17:30 ◎ 7-9月期香港域内総生産（GDP）速報値（予想：前期比0.6%/前年比5.7%）
- 17:30 ◇ 10月スイス製造業PMI（予想：66.5）
- 18:30 ◎ 10月英製造業PMI改定値（予想：57.7）
- 22:45 ◎ 10月米製造業PMI改定値（予想：59.3）
- 23:00 ◇ 9月米建設支出（予想：前月比0.4%）
- 23:00 ☆ 10月米サプライマネジメント協会（ISM）製造業景気指数（予想：60.5）
- 2日 03:00 ◎ 10月ブラジル貿易収支（予想：23.91億ドルの黒字）
- 欧州は10月31日から冬時間に移行済み
- ポーランド（万霊節）、休場

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

29日 17:56 ミュラー・エストニア中銀総裁

「持続的なインフレ高進は緩和縮小を必要とする可能性」

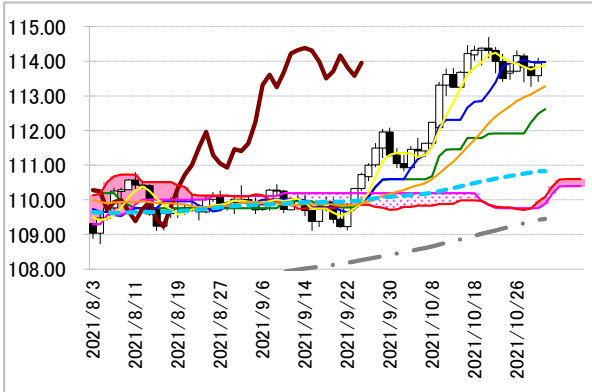
「PEPPは来年春に終了する可能性」

「インフレを注意深く監視する必要」

「インフレ率が大幅に上昇した場合、資産買入れとマイナス金利を継続できなくなる」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

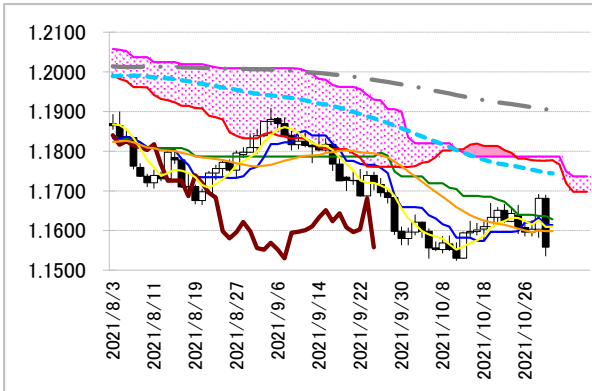


<ドル円=10/28 安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。抱き線（アウトサイド・デイ）で反発して、転換線を上回りつつあることで続伸の可能性が示唆されている。

本日は、10月28日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	115.51 (2017/3/10 高値)
レジスタンス 1	114.70 (10/20 高値=年初来高値)
前日終値	113.95
サポート 1	113.26 (10/28 安値)
サポート 2	112.62 (日足一目均衡表・基準線)

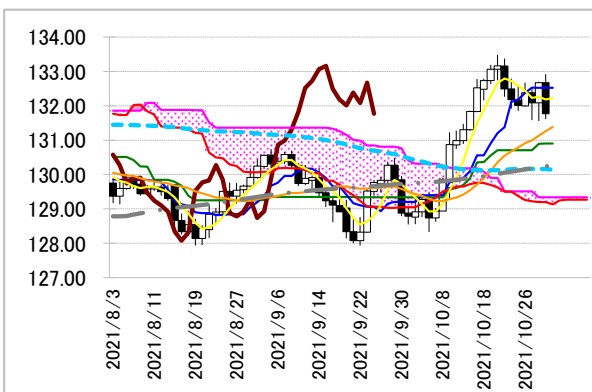


<ユーロドル=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

大陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯した。しかし、抱き線（アウトサイド・デイ）で反落し、転換線を下回って引けていることで続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1614 (日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1558
サポート 1	1.1524 (10/12 安値=年初来安値)

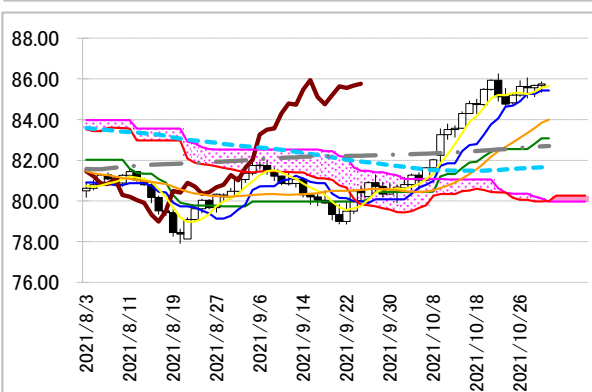


<ユーロ円=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

大陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。しかし、抱き線で反落し、転換線を下回って引けており続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	132.52 (日足一目均衡表・転換線)
前日終値	131.77
サポート 1	130.91 (日足一目均衡表・基準線)



<豪ドル円=転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。2手連続陽線で上昇し、転換線を上回って引けており続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	86.26 (10/21 高値=年初来高値)
前日終値	85.76
サポート 1	85.43 (日足一目均衡表・転換線)

